「新型コロナウイルス感染症に関する 永平寺町生活実感調査」 報告書

2021年6月

福井県立大学地域経済研究所

はじめに

2020年に入り、世界規模で急拡大した新型コロナウイルス感染症は、マスク生活やソーシャルディスタンス(社会的距離)徹底の常態化、あらゆる場面でのリモート拡大や普及など、地域社会や私たちの日々の暮らしを大きく変容させました。

ワクチンの高齢者接種や職域接種が始まり、ワクチン接種率が飛躍的に向上していると はいえ、このコロナ禍は、いまだ警戒が必要な状況になっています。

なによりも、地域に暮らす住民の皆さまにとって、安全安心で幸せな暮らしとは何かを コロナ禍を経験して問い直したうえで、価値ある行政サービスを提供していく必要性に迫 られています。

本調査・研究は、こうした状況を踏まえて、永平寺町住民の皆さまの実情や生活実感を、アンケート調査を通じて把握し分析することで、データに基づき今後の永平寺町におけるコロナ対策を含む地域政策・施策の方向性を提示するものです。

その中身は、1.新型コロナウイルス感染症への町民の認識及び対応状況、2.生活困窮状況、3.孤独状況、4.孤立状況、5.新型コロナウイルス感染症対策に関する町政施策認知度と満足度、6.現在と今後の困りごと、7.町民のウェルビーイング度(幸福度)、8.ウェルビーイング・幸せの分野別満足度、9.永平寺町の各種生活実感と、住民の皆さまのコロナ禍における意識や実態などの状況と、町政策への評価に基づき、5つの政策提言を行っています。

本調査・研究の結果を通じた政策や施策が、コロナ禍における暮らしの中であっても、 永平寺町住民のひとりでも多くの方々に、安全・安心をお届けできるものになることを願っています。

なお、本調査・研究は、永平寺町と福井県立大学地域経済研究所が共同で行ったものです。アンケート調査にご協力くださった永平寺町にお住まいの皆さまをはじめ、ご理解、 ご支援いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。

2021年6月

福井県立大学地域経済研究所

I.	調査	E要領 ······P1
II.	調査	氏結果及び政策提言の要約 P4
III.	調査	E結果の詳細
	1.	新型コロナウイルス感染症への町民の認識及び対応状況P6
	2.	生活困窮状況
	3.	孤独状況
	4.	孤立状況
	5.	新型コロナウイルス感染症対策に関する町政施策認知度と満足度P10
	6.	現在と今後の困りごと ·····P12
	7.	町民のウェルビーイング度(幸福度)P13
	8.	ウェルビーイング・幸せの分野別満足度P14
	9.	永平寺町の各種生活実感P15
IV.	政策	5提言 ······P16
V.	おれ	っりにP20
資料	斗編	— 調査質問項目 / 調査結果単純集計 ······P21

新型コロナウイルス感染症に関する永平寺町生活実感調査

I. 調査要領

1. 調査目的

現在、永平寺町では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い経済状況や社会構造の変化に直面しており、住民の生活も場所や年齢を問わず十分に警戒すべき状況となっており、新型コロナウイルス感染症も収束までには長期化の様相を呈している。住民生活への適時適切な支援対策を講じるため、地域住民の実情や生活実感を踏まえたデータの蓄積と分析が必要であり、このデータを基に、感染症収束後も念頭に置いた様々な外的要因を含めた施策の提言に基づき生活支援の推進を図ることを目的とする。

2. 調査方法

グーグルフォームによるウェブ調査にて実施。調査周知のため、下記チラシを作成し、 2021 年 4 月 2 日 (金)及び 4 月 16 日 (金)の二回にわたって全戸配布を行った。また、4 月 24 日 (土)には生活実感調査実施にかかる記事が福井新聞にて掲載された。



3. 調査対象

永平寺町在住の 15 歳以上の住民

4. 調査期間

2021年4月2日(金)~5月7日(金)の35日間

5. 回答状況

回答数 1198人(回答率 7.54%、2021年5月1日現在の永平寺町の15歳以上人口15,884

人の場合)、有効回答数 1185 人(回答率 7.46%)。なお、回答はいただいたもの、回答不備・重複回答などの場合、無回答として処理した。

6. 回答者属性

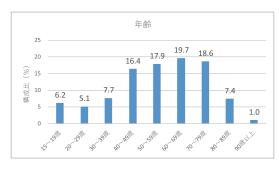
① 性別

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	男性	497	41.9
2	女性	682	57.6
3	回答しない	6	0.5
	合計	1185	100.0



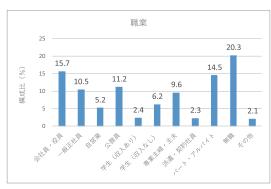
② 年齢

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	15~19歳	73	6.2
2	20~29歳	61	5.1
3	30~39歳	91	7.7
4	40~49歳	194	16.4
5	50~59歳	212	17.9
6	60~69歳	233	19.7
7	70~79歳	221	18.6
8	80~89歳	88	7.4
9	90歳以上	12	1.0
	合計	1185	100.0



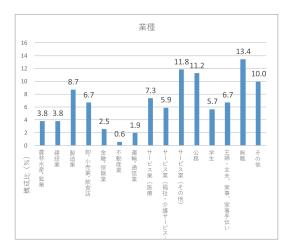
③ 職業

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	会社員・役員	186	15.7
2	一般正社員	124	10.5
3	自営業	62	5.2
4	公務員	133	11.2
5	学生(収入あり)	28	2.4
6	学生(収入なし)	74	6.2
7	専業主婦・主夫	114	9.6
8	派遣・契約社員	27	2.3
9	パート・アルバイト	172	14.5
10	無職	240	20.3
11	その他	25	2.1
	合計	1185	100.0



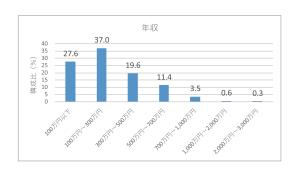
④ 業種

少木住			
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	農林水産・鉱業	45	3.8
2	建設業	45	3.8
3	製造業	103	8.7
4	卸・小売業・飲食店	79	6.7
5	金融·保険業	30	2.5
6	不動産業	7	0.6
7	運輸·通信業	23	1.9
8	サービス業(医療	87	7.3
9	サービス業(福祉・介護サービス等)	70	5.9
10	サービス業(その他)	140	11.8
11	公務	133	11.2
12	学生	67	5.7
13	主婦・主夫、家事、家事手伝い	79	6.7
14	無職	159	13.4
15	その他	118	10.0
	合計	1185	100.0



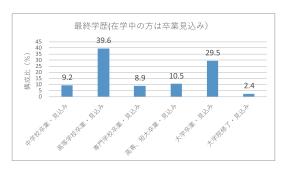
⑤ 年収

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	100万円以下	327	27.6
2	100万円~300万円	439	37.0
3	300万円~500万円	232	19.6
4	500万円~700万円	135	11.4
5	700万円~1,000万円	42	3.5
6	1,000万円~2,000万円	7	0.6
7	2,000万円~3,000万円	3	0.3
	合計	1185	100.0



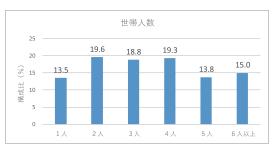
⑥ 最終学歴(在学中の方は卒業見込み)

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	中学校卒業・見込み	109	9.2
2	高等学校卒業・見込み	469	39.6
3	専門学校卒業・見込み	105	8.9
4	高専、短大卒業・見込み	124	10.5
5	大学卒業・見込み	349	29.5
6	大学院修了・見込み	29	2.4
	合計	1185	100.0



⑦ 世帯人数

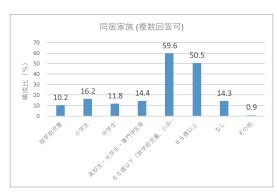
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	1人	160	13.5
2	2人	232	19.6
3	3人	223	18.8
4	4 人	229	19.3
5	5人	163	13.8
6	6人以上	178	15.0
	合計	1185	100.0



⑧ 同居家族 (複数回答可)

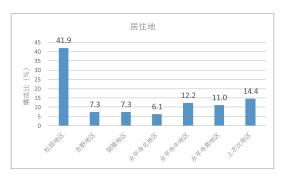
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	就学前児童	121	10.2
2	小学生	192	16.2
3	中学生	140	11.8
4	高校生・大学生・専門学生等	171	14.4
5	6 5歳以下(就学前児童、小中高生、大学生など通学者を除く)	706	59.6
6	65歳以上	598	50.5
7	なし	169	14.3
8	その他	11	0.9
	合計	2108	177.9





⑨ 居住地

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	松岡地区	496	41.9
2	吉野地区	86	7.3
3	御陵地区	86	7.3
4	永平寺北地区	72	6.1
5	永平寺中地区	144	12.2
6	永平寺南地区	130	11.0
7	上志比地区	171	14.4
	合計	1185	100.0



II. 調査結果及び政策提言の要約

新型コロナウイルス感染症への町民認識―恐怖感を感じ、長期化を覚悟 (P6)

新型コロナウイルス感染症への認識について、「非常に怖い」と回答した方が 41.7% 「怖い」は 47.9%となっており、89.6%の町民が生活における恐怖と認識している。また、収束時期については、「2022 年以降」と回答した方が 86.0%と、生活への長期的な影響を町民が 覚悟していることが伺える。

現在の予防対策一予防対策はしっかりと実践 (P6)

予防対策に対して、「きちんと予防対策をしている」と回答した方が 49.1% 「やや予防対策をしている」は 46.8%となっており、95.9%の町民が生活の中で予防対策を実践。個人で行える習慣的な予防対策と、人との接触の数を減らすという意識的な予防対策を行っていることが分かる。

現在の生活の状況一孤独・困窮と感じる人が3人に1人以上(P8)

現在の生活において、町民の38.6%に孤独感があるとの結果が見いだされた。また、「とても困窮している」と回答した方が4.1%、「少し困窮している」は28.8%となっており、32.9%の町民が程度の差こそあれ生活における困窮を感じている。

町政施策の認知度一認知度向上と政策アウトリーチの必要性 (P10)

永平寺町の新型コロナウイルス感染症対策に関する施策の認知度と満足度を尋ねたところ、各施策を「知っている」と回答した町民の、該当する施策への満足度は総じて高い。 一方で、50%以上の町民が認知している施策は 2 事業のみにとどまっており、施策に関する認知度が低いという通底する課題が見られる。

現在と今後の困りごと一身体的、精神的、社会的な良好な状態への住民ニーズ (P12)

現在の困りごとと、今後の困りごとの結果をみると、現在では「特にない」が 32.4%で 首位、以下、「自身の感染の恐れ・不安 (29.3%)」、「外出時の制限 (感染予防対策など) (27.8%)」、「集落や地区内の友人等と過ごす機会の縮小 (27.8%)」、「運動・スポーツの機会の減少 (20.6%)」と続いている。また、今後の困りごとについてみると、「自身の感染の恐れ・不安」が 44.1%で首位であり、14.8 ポイントの増加が見られる。加えて、「家族の感染」、「自分自身・家族の健康悪化(身体面)」、「自分自身・家族の健康悪化(精神面)」等が目立ったポイント増となった。コロナ禍における身体的、精神的、社会的な困難や不安が伺え、経済的支援のみだけでなく、一人ひとりの身体的、精神的、社会的な良好な状態(ウェルビーイング)に向けた政策・施策にニーズがあることが分かる。

町民のウェルビーイング度(幸福度) - 継続的把握と政策的支援の検討が必要(P13)

身体的、精神的、社会的な良好な状態を指し示すウェルビーイング度(幸福度)であるが、ウェルビーイングな状態ではないと判断される町民が 11.8%となり、政策的支援の必要性が明らかになった。また、町民のウェルビーイング度には性別やライフステージによる差異が見られ、ターゲットに応じた対策検討が継続的な実態調査のもと不可欠である。

永平寺町におけるウェルビーイング・幸せの実態-文化・芸術分野と寛容性に課題感 (P14)

ウェルビーイング・幸せを構成する9分野(健康、仕事、学び、食と農、まちづくり、自然、文化・芸術、家族・友人との関係、時間の使い方)にて永平寺町における満足度を測定。「自然」、「家族・友人との関係」、「健康」分野の満足度は高いが、一方で、「文化・芸術」、「学び」、「まちづくり」分野の満足度が顕著に低く、課題感が見られる。また、永平寺町の各種生活実感からは、"愛着や誇りを感じる"という「シビックプライド」と「子育て環境の充実」に関しての実感の高さは確認できたが、「寛容性」と「創造性」に関する実感値は低く、町の課題として浮かび上がった。

コロナ対策及び感染症収束後も念頭に置いた取り組み-5つの政策提言の方向性 (P16)

- ① 包括的な孤独・孤立対策の実施
- ② 文化・芸術分野と創造性支援の重点化
- ③ 寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)の視点強化
- ④ 施策認知度向上のためのメディア活用戦略
- ⑤ 生活実感調査の継続実施及び政策反映

III. 調査結果の詳細

1. 新型コロナウイルス感染症への町民の認識及び対応状況

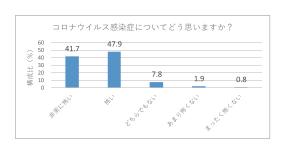
新型コロナウイルス感染症への認識について、「非常に怖い」と回答した方が 41.7% 「怖い」は 47.9%となっており、89.6%の町民が生活における恐怖と認識している。また、新型コロナウイルス感染症の拡大する理由として、「他県への往来」(56.6%)、「個人の予防対策の気のゆるみ」(47.1%)、「大人数の会食」(45.9%)が考えられる理由として上位に挙げられた。

感染がより拡大した場合の緊急事態宣言等の発令について、「すぐに出した方が良いと思う」と回答した方が 45.2% 「出した方が良いと思う」は 36.6%となっており、81.8%の町民が状況に応じた緊急事態宣言等の発令について必要性を認識。新型コロナウイルス感染症の収束時期については、「2022 年以降」と回答した方が 86.0%となり、新型コロナウイルス感染を収集の生活への長期的な影響を町民が覚悟していることが伺える。

また、現在行っている新型コロナウイルス感染症への予防対策に対して、「きちんと予防対策をしている」と回答した方が 49.1% 「やや予防対策をしている」は 46.8%となっており、95.9%の町民が生活の中で予防対策を実践している。加えて、実践している予防対策の具体的方法として、「マスク着用」 (98.6%)、「手洗い」 (92.3%)、「アルコールやエタノール消毒」 (82.5%)、「大人数の会食を控える」 (74.1%)、「人込みを避ける」 (68.4%) が上位に挙げられ、個人で行える習慣的な予防対策と、人との接触の数を減らすという意識的な予防対策を行っていることが分かる。

コロナウイルス感染症についてどう思いますか?

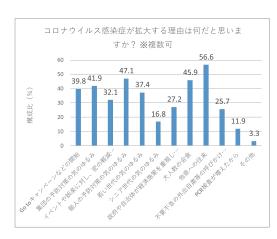
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	非常に怖い	494	41.7
2	怖い	568	47.9
3	どちらでもない	92	7.8
4	あまり怖くない	22	1.9
5	まったく怖くない	9	0.8
	合計	1185	100.0



コロナウイルス感染症が拡大する理由は何だと思いますか? ※複数可

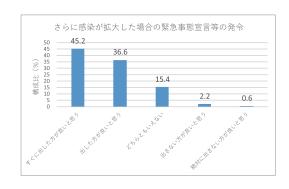
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	Go toキャンペーンなどの開始	472	39.8
2	集団の予防対策の気のゆるみ	496	41.9
3	イベントや娯楽に対し、密の軽減や緩和があったから	380	32.1
4	個人の予防対策の気のゆるみ	558	47.1
5	若い世代の気のゆるみ	443	37.4
6	シニア世代の気のゆるみ	199	16.8
7	政府や自治体が経済施策を重視したから	322	27.2
8	大人数の会食	544	45.9
9	他県への往来	671	56.6
10	要不急の外出自粛等の呼びかけが浸透していな	304	25.7
11	PCR検査が増えたから	141	11.9
12	その他	39	3.3
	合計	4569	385.6

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない



さらに感染が拡大した場合の緊急事態宣言等の発令について

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	すぐに出した方が良いと思う	536	45.2
2	出した方が良いと思う	434	36.6
3	どちらともいえない	182	15.4
4	出さない方が良いと思う	26	2.2
5	絶対に出さない方が良いと思う	7	0.6
	合計	1185	100.0



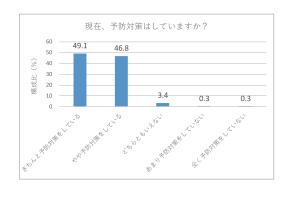
新型コロナウイルス感染症の収束はいつ頃と考えますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	2021年4-6月	5	0.4
2	2021年7-9月	16	1.4
3	2021年10-12月	145	12.2
4	2022年以降	1019	86.0
	合計	1185	100.0



現在、予防対策はしていますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	きちんと予防対策をしている	582	49.1
2	やや予防対策をしている	555	46.8
3	どちらともいえない	40	3.4
4	あまり予防対策をしていない	4	0.3
5	全く予防対策をしていない	4	0.3
	合計	1185	100.0



現在している予防対策は何ですか?※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	手洗い	1094	92.3
2	マスク着用	1169	98.6
3	アルコールやエタノール消毒	978	82.5
4	うがい	543	45.8
5	人込みを避ける	811	68.4
6	集会やイベントに参加しない	673	56.8
7	大人数の会食を控える	878	74.1
8	飲食を伴う懇親会は控える	707	59.7
9	不要な外食は控える	650	54.9
10	室内の換気	437	36.9
11	定期的な検温	463	39.1
12	室内の掃き掃除	195	16.5
13	空気清浄機や加湿器の使用	175	14.8
14	テレワークの実施	61	5.1
15	時差出勤	28	2.4
16	特になし	3	0.3
17	その他	8	0.7
	合計	8873	748.8

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない

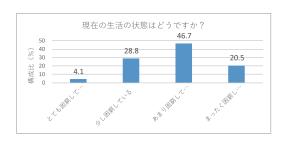


2. 生活困窮状況

調査時点での、生活における主観的な困窮度合いにおいて尋ねたところ、「とても困窮している」と回答した方が 4.1% 「少し困窮している」は 28.8%となっており、<u>32.9%の</u>町民が程度の度合いこそあれ生活における困窮を感じている。なお、客観的な経済状況を指し示す年収と今回の主観的な生活困窮状況に相関は見られず、年収という客観的な経済状況では説明できない困窮の要因があるものと考えられる。

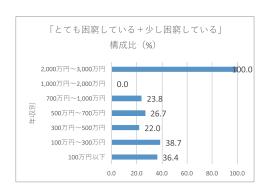
現在の生活の状態はどうですか?

No	カテゴリ	人数 (人)	構成比(%)
1	とても困窮している	48	4.1
2	少し困窮している	341	28.8
3	あまり困窮していない	553	46.7
4	まったく困窮していない	243	20.5
	合計	1185	100.0



主観的な生活困窮度

No	年収		「あまり困窮していな い+まったく困窮して いない」の構成比
1	100万円以下	36.4	63.6
2	100万円~300万円	38.7	61.3
3	300万円~500万円	22.0	78.0
4	500万円~700万円	26.7	73.3
5	700万円~1,000万円	23.8	76.2
6	1,000万円~2,000万円	0.0	100.0
7	2,000万円~3,000万円	100.0	0.0



3. 孤独状况

孤独・孤立の社会課題は、新型コロナウイルス感染症の影響も受け、益々注目があつまってきている。内閣官房には、孤独・孤立対策担当室が設置され、孤独・孤立対策担当大臣も任命された。孤独と孤立は混同しやすい概念であるが、地域看護学の田高悦子らは、孤独は、①個人の社会的関係の欠如に起因すること、②主観的な状態(体験)であること、③不快で苦痛を伴う体験である、としており、孤独は一人ひとりが感じる主観的な状況を指し示す。一方で、孤立は、客観的に人と接触がない孤立状態を指す客観的な状況を示すものである。本調査報告書では、孤独とは社会的関係が欠如していると主観的に感じる状況、孤立とは社会的関係が客観的に欠如していると判断される状況、と整理し言葉を取り扱うこととする。

町民の孤独の状況に関しては、日本語版 UCLA 孤独感尺度(第 3 版・3 項目版)を用いて測定したところ、町民の 38.6%に孤独感があるとの結果が見いだされた。また、年代別に孤独の状況を比較してみると、決して高齢層ばかりでなく、15-19 歳の学生層も含め、若

年層や現役世代において、孤独をより感じていることが分かった。加えて、客観的な経済 状況を指し示す年収と主観的な孤独に相関関係は見られず、客観的な経済状況では説明で きない孤独の要因があるものと考えられる。

なお、日本語版 UCLA 孤独感尺度は、以下の3つの質問により構成され、3つの質問の総合点として3-12点の評点となる。田高悦子らの研究では、平均年齢73.6歳を対象にした調査において平均点5.74点となり、今般の永平寺町の調査結果では、70-79歳の平均点は5.86点となり、同等の結果であった。今回の調査において、7点以上の7-12点の場合は「孤独感がある」、3-6点の場合は「孤独感がない」と整理し、主観的な孤独感の見える化を図った。(参照論文: 舛田ゆづり, 田高悦子, 臺有桂(2012): 高齢者における日本語版 UCLA 孤独感尺度(第3版)の開発とその信頼性・妥当性の検討.日本地域看護学会誌誌, 15(1): 25-32.)

【日本語版 UCLA 孤独感尺度(第3版・3項目版)】

質問項目 1:「自分には人との付き合いがないと感じることがありますか」(1点:決してない、2点:ほとんどない、3点:時々ある、4点:常にある)

質問項目 2:「自分は取り残されていると感じることがありますか」(1 点:決してない、2 点:ほとんどない、3 点:時々ある、4 点:常にある)

質問項目 3:「自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか」(1 点:決してない、2点:ほとんどない、3点:時々ある、4点:常にある)

孤独感の有無

No	カテゴリ	構成比(%)
1	孤独感がある	38.6
2	孤独感がない	61.4
	合計	100.0



【年齢別】孤独感がある方の構成比

No	年齢	構成比(%)
1	15~19歳	47.9
2	20~29歳	37.7
3	30~39歳	51.6
4	40~49歳	46.9
5	50~59歳	42.5
6	60~69歳	39.9
7	70~79歳	27.1
8	80~89歳	18.2
9	90歳以上	25.0



【収入別】孤独感がある方の構成比

No	収入	構成比(%)
1	100万円以下	40.7
2	100万円~300万円	35.8
3	300万円~500万円	40.9
4	500万円~700万円	40.7
5	700万円~1,000万円	31.0
6	1,000万円~2,000万円	42.9
7	2,000万円~3,000万円	66.7



4. 孤立状況

友人との交流頻度を尋ねたところ、40.5%の町民が月に1回以下との回答であり、年に1回以下との回答も12.6%となった。また、地域コミュニティ活動への参加頻度は、80.6%の人が月に1回以下と回答、行っていないとの回答も32.3%であった。<u>コロナ禍における社会交流の少なさ(孤立傾向となる状況)が見られ、加えて、既存の地域コミュニティ活動が社会的関係を生み出す役割を十分に果たせていない状況が伺える。</u>

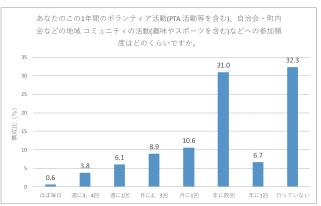
あなたは友人等と平均してどのくらいの頻度で交流(実際に会ったり、連絡を取り合ったりすること)をしていますか。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)	
1	ほぼ毎日	93	7.8	
2	週に3、4回	194	16.4	
3	週に1回	234	19.7	
4	月に2、3回	183	15.4	
5	月に1回	161	13.6	
6	年に数回	170	14.3	
7	年に1回	33	2.8	
8	1年以上交流なし	88	7.4	
9	該当者がいない	29	2.4	
	合計	1185	100.0	

あなたのこの1年間のボランティア活動(PTA 活動等を含む)、自治会・町内会などの地域 コミュニティの活動(趣味やスポーツを含む)などへの参加頻度はどのくらいですか。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	ほぼ毎日	7	0.6
2	週に3、4回	45	3.8
3	週に1回	72	6.1
4	月に2、3回	106	8.9
5	月に1回	126	10.6
6	年に数回	367	31.0
7	年に1回	79	6.7
8	行っていない	383	32.3
	合計	1185	100.0





5. 新型コロナウイルス感染症対策に関する町政施策認知度と満足度

永平寺町の新型コロナウイルス感染症対策に関する施策の認知度と満足度に関して尋ねたところ、各施策を「知っている」と回答した町民の当該施策への満足度は総じて高い。

一方で、50%以上の町民が認知している施策は、「水道料金の減免(64.4%)」と「永平寺町みんなのスタンプラリー(84.4%)」の 2 事業のみにとどまっており、<u>施策に関する認知度</u>が低いという通底する課題が見られる。

なお、認知度の数字の大小は、施策の内容・対象によって異なるのが常であり、一律での判断は難しい。町政として施策毎の対象や目指すべき認知度水準の想定があってはじめて、認知度の数字を適切に判断することができるものと考える。

	知らない	知っている
水道料金の減免	35.6	64.4
永平寺町子ども生活応援給付金	55.4	44.6
新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	77.9	22.1
事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)	60.0	40.0
教育資金支援給付金(拡充)	76.6	23.4
徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	64.3	35.7
永平寺町みんなのスタンプラリー	15.6	84.4
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免	74.3	25.7
感染防止徹底宣言支援事業	73.8	26.2
新型コロナ対応資金等利子補給事業	78.0	22.0
地産地消支援事業	82.0	18.0
新生児育児応援給付金	81.2	18.8
	━ 知らない	知っている

セル色分けのルール① 75%以上 50~75% 25~50% 25%以下

セル色分けのルール②

満足度 期待度

(D.I.)

 757 747

 75 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

 50 50

・ コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みの満足度

※取り組みを知っていると回答した方の回答結果

(%)

	とても満足し	少し満足して	あまり満足し	まったく満足	₩D.I.	回答者数
	ている	いる	ていない	していない	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
水道料金の減免	45.6	40.6	11.7	2.1	72.5	763
永平寺町子ども生活応援給付金	34.5	48.1	12.9	4.5	65.2	528
新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	41.6	41.2	14.1	3.1	65.6	262
事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)	30.2	43.9	19.6	6.3	48.1	474
教育資金支援給付金 (拡充)	36.5	43.0	15.9	4.7	58.8	277
徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	33.6	42.6	17.7	6.1	52.2	423
永平寺町みんなのスタンプラリー	28.8	43.2	20.6	7.4	44.0	1,000
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免	37.8	43.8	15.8	2.6	63.2	304
感染防止徹底宣言支援事業	37.6	46.6	13.5	2.3	68.5	311
新型コロナ対応資金等利子補給事業	32.6	44.8	18.8	3.8	54.8	261
地産地消支援事業	37.1	43.7	15.5	3.8	61.5	213
新生児育児応援給付金	39.9	42.6	11.7	5.8	65.0	223

※D.I.=(とても満足している+少し満足している)-(あまり満足していない+まったく満足していない)プラスの値が大きいほど満足度が高い。マイナスの値が大きいほど不満の傾向にある。

→コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みへの期待度

※取り組みを知らないと回答した方の回答結果

(%)

XX / ME / CAL / G C C C C C C C C C C C C C C C C C C				(/0/		
	とても期待し	少し期待して	あまり期待し	まったく期待	₩D.I.	回答者数
	ている	いる	ていない	していない	% D.I.	凹合有奴
水道料金の減免	23.0	43.1	24.2	9.7	32.2	422
永平寺町子ども生活応援給付金	17.5	38.2	29.8	14.5	11.4	657
新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	19.0	44.7	24.4	11.9	27.4	923
事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)	14.2	39.0	31.6	15.2	6.3	711
教育資金支援給付金(拡充)	15.4	42.3	29.0	13.3	15.4	908
徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	15.5	41.3	30.2	13.0	13.6	762
永平寺町みんなのスタンプラリー	14.6	38.9	28.6	17.8	7.0	185
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免	20.2	41.8	26.9	11.1	24.0	881
感染防止徹底宣言支援事業	13.7	40.8	32.3	13.2	9.2	874
新型コロナ対応資金等利子補給事業	14.0	39.7	31.9	14.4	7.4	924
地産地消支援事業	15.0	40.8	31.0	13.2	11.7	972
新生児育児応援給付金	17.0	40.9	29.1	13.0	15.8	962

※D.I.= (とても期待している+少し期待している) - (あまり期待していない+まったく期待していない) プラスの値が大きいほど期待度が高い。マイナスの値が大きいほど期待していない傾向にある。

6. 現在と今後の困りごと

生活における現在の困りごとと、今後の困りごとの結果をみると、現在では「特にない」が 32.4%で首位、以下は、「自身の感染の恐れ・不安(29.3%)」、「外出時の制限(感染予防対策など)(27.8%)」、「集落や地区内の友人等と過ごす機会の縮小(27.8%)」、「運動・スポーツの機会の減少(20.6%)」と続いている。また、今後の困りごとについてみると、「自身の感染の恐れ・不安」が 44.1%で首位であり、14.8 ポイントの増加が見られる。また、「家族の感染」が 26.4 ポイント増(現在 $14.3\% \rightarrow$ 今後 40.7%/2 位)、他にも、「自分自身・家族の健康悪化(身体面)」が 15.7 ポイント増、「自分自身・家族の健康悪化(精神面)」が 10.5 ポイント増となっている。

永平寺町の新型コロナウイルス感染症対策に関する施策メニューは、現状において、経済的な支援と考えられるが、現在及び今後の困りごとの結果からは、経済的な困難や不安というよりも、身体的、精神的、社会的な困難や不安が伺え、一人ひとりの身体的、精神的、社会的な良好な状態を目指す概念であるウェルビーイングへの住民ニーズや社会欲求が見て取れる。

現在と今後の困りごと

カテゴリ	現在の困りる	ごと	今後の困りる	変化	
))	構成比(%)	順番	構成比(%)	順番	ポイント
特にない	32.4	1	10.0	9	-22.4
自身の感染の恐れ・不安	29.3	2	44.1	1	14.8
外出時の制限(感染予防対策など)	27.8	3	34.0	3	6.2
集落や地区内の友人等と過ごす機会の縮小	20.8	4	-	-	
運動・スポーツの機会の減少	20.6	5	21.4	5	0.8
家族の感染	14.3	6	40.7	2	26.4
収入の減少	13.8	7	20.3	7	6.6
自分自身・家族の健康悪化(精神面)	10.9	8	21.4	5	10.5
自分自身・家族の健康悪化(身体面)	10.4	9	26.1	4	15.7
支出の増加	9.3	10	11.6	8	2.3
働き方の変化による負担	6.5	11	8.7	11	2.2
自分自身・家族の学習機会の確保、学力低下	5.5	12	8.3	12	2.8
学習の遅れ	4.1	13	6.9	14	2.8
家族の介護の負担増	3.8	14	8.3	12	4.5
休業(無給)	2.8	15	5.1	16	2.3
過重労働	2.4	16	3.4	20	0.9
住宅ローンの返済	2.3	17	3.0	21	0.8
働き口がなくなる	2.2	18	5.8	15	3.6
マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない	1.6	19	8.9	10	7.3
Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の使い方が分からない	1.6	19	3.6	19	2.0
Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない	1.4	21	1.8	23	0.4
新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない	1.4	21	2.0	22	0.7
失業(就業先の経営不振による)	1.2	23	4.1	17	3.0
就業先が見つからない	1.0	24	3.7	18	2.7
住宅を手放さなくてはならない	0.2	25	0.5	26	0.3
内定取り消し	0.1	26	0.9	25	0.8
その他	0.0	27	1.5	24	1.5

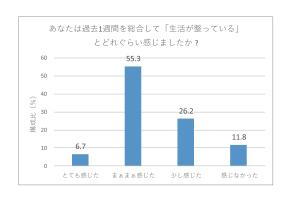
7. 町民のウェルビーイング度(幸福度)

身体的、精神的、社会的な良好な状態を指し示すウェルビーイング度(幸福度)を「あなたは過去 1 週間を総合して「生活が整っている」とどれぐらい感じましたか?」という設問を元に測定した。結果は、「とても感じた((6.7%)」、「まぁまぁ感じた((55.3%)」、「少し感じた((26.2%)」、「感じなかった((11.8%)」となり、特に、ウェルビーイングな状態ではないと判断することができる「感じなかった」の回答が (11.8%)となったことは重要な示唆であり、町民の身体的、精神的、社会的な良好な状態を目指して、政策的支援が必要であることを表している。

また、ウェルビーイング度を性別及び年代別に比較したところ、女性はライフコースにおける前半期の若年層においてウェルビーイング度が低く、年齢を重ねるごとにウェルビーイング度が高くなっていく傾向が見られた。一方で、男性は、前半期の若年層におけるウェルビーイング度は高いが、年齢を重ねるごとに低くなっていく傾向が見られた。なお、性別において「回答しない」とした方が5名(0.5%)おり、統計的に比較できる数ではないが、SDGs の理念である"誰もとり残されない"の精神のもと、LGBTQ等へのケアが町政として必要なことも付記しておく。

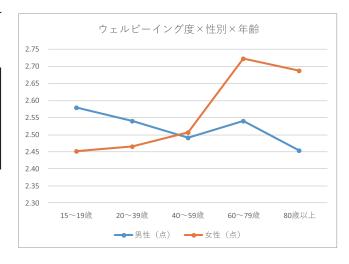
あなたは過去1週間を総合して「生活が整っている」とどれぐらい感じましたか?

No	カテゴリ	人数 (人)	構成比(%)
1	とても感じた	79	6.7
2	まぁまぁ感じた	655	55.3
3	少し感じた	311	26.2
4	感じなかった	140	11.8
	合計	1185	100.0



あなたは過去1週間を総合して「生活が整っている」とどれぐらい感じましたか? (とても感じた 4点、まぁまぁ 感じた 3点、少し感じた 2点、感じなかった 1点)

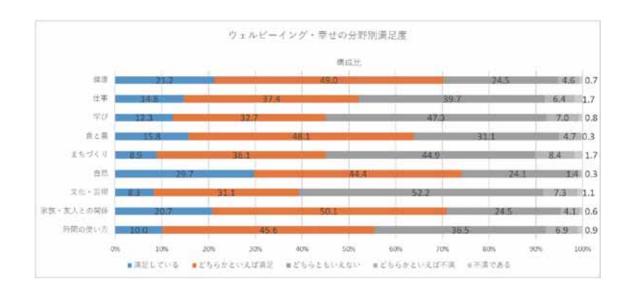
カテゴリ	男性(点)	女性(点)	回答しない(点)
15~19歳	2.58	2.45	
20~39歳	2.54	2.47	3.00
40~59歳	2.49	2.51	3.50
60~79歳	2.54	2.72	2.50
80歳以上	2.45	2.69	3.00



8. ウェルビーイング・幸せの分野別満足度

ウェルビーイング・幸せを構成する9分野(健康、仕事、学び、食と農、まちづくり、自然、文化・芸術、家族・友人との関係、時間の使い方)における永平寺町における満足度を5段階で測定。「満足している」または「どちらかといえば満足」と回答した割合は、「自然(74.1%)」、「家族・友人との関係(70.8%)」、「健康(70.2%)」の順に高い。一方で、「文化・芸術(39.3%)」、「学び(45.0%)」、「まちづくり(45.1%)」の満足度が顕著に低く、課題感が見られる。また、性別及び年代別に分野別満足度を比較してみると、総じて、性別及び年代にかかわらず、「自然」、「家族・友人との関係」、「健康」の満足度は高く、「文化・芸術」、「学び」、「まちづくり」の満足度が低いことがわかる。なお、上記の9分野分類は福井新聞の県民参加型で幸せを探求する「未来の幸せアクションリサーチ」において得られた結果であり、ウェルビーイング・幸せを構成する9分野として本調査に活用した。

ウェルビー	-イング・幸せの分野別満足度(51	段階評価)											
No	カテゴリ	満足している	5 (件数/%)	どちからといえ	ば満足(件数/%)	どちらともいえ	ない (件数/%)	どちらといえば	不満(件数/%)	不満である	(件数/%)	合計 (1	牛数/%)
1	健康	251	21.2	581	49.0	290	24.5	55	4.6	8	0.7	1185	100.0
2	仕事	175	14.8	443	37.4	471	39.7	76	6.4	20	1.7	1185	100.0
3	学び	146	12.3	387	32.7	560	47.3	83	7.0	9	0.8	1185	100.0
4	食と農	187	15.8	570	48.1	368	31.1	56	4.7	4	0.3	1185	100.0
5	まちづくり	106	8.9	428	36.1	532	44.9	99	8.4	20	1.7	1185	100.0
6	自然	352	29.7	526	44.4	286	24.1	17	1.4	4	0.3	1185	100.0
7	文化・芸術	98	8.3	368	31.1	619	52.2	87	7.3	13	1.1	1185	100.0
8	家族・友人との関係	245	20.7	594	50.1	290	24.5	49	4.1	7	0.6	1185	100.0
9	時間の使い方	119	10.0	540	45.6	433	36.5	82	6.9	11	0.9	1185	100.0

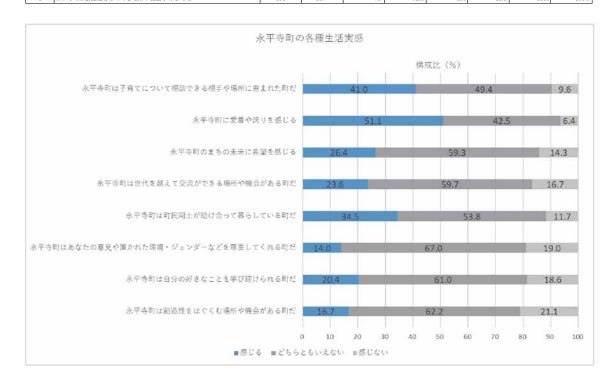


ウェルビーイング・幸せの分野別満足度の年代別順位(「満足している」または「どちらかといえば満足」と回答した割合(%)) 女性全体 72.0 3位 53.8 44.9 63.6 58.0 80.7 64.8 40~59歳 70.7 56.4 38.0 60~79歲 34.8 66.0 59.6 男性全体 50.5 45.5 7位 61.4 42.9 68.2 53.5 5位 2位 58.1 65.1 40~59歳 59.2 50.8 60.3 69.8 61.4 0~79歳 50.0 63.9 3位 80歳以上

9. 永平寺町の各種生活実感

永平寺町の各種生活実感を測定したところ、「愛着や誇りを感じる」というシビックプライド (51.1%) と子育て環境の充実 (41.0%) に関しての実感値が高い(「感じる」と回答した割合)。一方で、寛容性 (14.0%) と創造性(16.7%)に関する実感値は低く、町の課題として認識される。なお、寛容性を感じられているのは、女性で 12.9%、男性では 16.7%となり、女性の方が永平寺町において寛容性を感じられてない現状が伺える。

永平寺町の	D各種生活実感								
No	カテゴリ	感じる(感じる(件数/%) どちらともいえない(件数/%)		感じない	(件数/%)	合計(件数/%)		
1	永平寺町は子育てについて相談できる相手や場所に恵まれた町だ	486	41.0	585	49.4	114	9.6	1185	100.0
2	永平寺町に愛着や誇りを感じる	605	51.1	504	42.5	76	6.4	1185	100.0
3	永平寺町のまちの未来に希望を感じる	313	26.4	703	59.3	169	14.3	1185	100.0
4	永平寺町は世代を越えて交流ができる場所や機会がある町だ	280	23.6	707	59.7	198	16.7	1185	100.0
5	永平寺町は町民同士が助け合って暮らしている町だ	409	34.5	637	53.8	139	11.7	1185	100.0
6	永平寺町はあなたの意見や置かれた環境・ジェンダーなどを尊重してくれる町	166	14.0	794	67.0	225	19.0	1185	100.0
7	永平寺町は自分の好きなことを学び続けられる町だ	242	20.4	723	61.0	220	18.6	1185	100.0
- 8	シ平去町仕創造性をけぐくお場所や機会がある町だ	198	16.7	737	62.2	250	21.1	1185	100.0



IV. 政策提言

新型コロナウイルス感染症に関する永平寺町の取り組みは、住民に対する経済的な施策が中心となり、施策を認知している住民からの満足度は総じて高い。しかし、認知度自体が必ずしも高いとは言えず、住民へのアウトリーチの質を高める必要性が明らかになった。また、経済的な支援ばかりでなく、住民の心理的、精神的なケアや社会的関係性の維持・向上を実現する施策の検討と実施が望まれる結果となった。新型コロナウイルス感染症対策及び感染症収束後も念頭に置いた政策の方向性として以下の5つについて政策提言を行う。

政策の方向性	①主体	②目的	③方法
1. 包括的な孤独・孤立対策の実施	永平寺町	孤独・孤立の予防及び解消	相談窓口設置と外部機関連携強化
2. 文化・芸術分野と創造性支援の重点化	永平寺町	文化・芸術分野の振興	文化・芸術分野の各種機会創出
3. 寛容性の視点強化	永平寺町	まちの寛容性の醸成	町民の政策決定過程への参画拡大
4. 施策認知度向上のためのメディア活用戦略	永平寺町	施策認知度向上	メディア活用戦略の策定
5. 生活実感調査の継続実施及び政策反映	福井県立大学地域経済研究所	町民生活の実態把握	生活実感調査の継続

1. 包括的な孤独・孤立対策の実施

社会的関係をつくること・維持することが難しいコロナ禍において、町民の 38.6%に程度の差こそあれなにかしらの孤独感があるとの結果が見いだされた。孤独・孤立の問題はコロナ禍により明確になったが、新型コロナウイルス感染症収束後も、人口減が想定される地域において看過できない社会課題であり、継続した実態調査を通じて息の長い包括的な孤独・孤立対策が求められる。

具体的には、孤独・孤立や生活困窮の要因は各個人によって異なり且つ役場に直接出向いて相談することができないケースが多いため、SNS やインターネット・電話等を活用した相談窓口設置による相談支援や各種相談支援機関、NPO等との連携強化が有効と考えられる。また、孤独・孤立対策に寄与する活動を行っている NPO・企業等への支援強化や町内において参加できるコミュニティ活動/まちづくり活動の広報強化、かかりつけ医等が患者の社会生活面の課題にも目を向けて地域活動と連携する取組である「社会的処方」の推進検討などが考えられる。

2. 文化・芸術分野と創造性支援の重点化

永平寺町でのウェルビーイング・幸せを構成する分野別満足度において「文化・芸術」の 満足度が最も低く、また、まちの幸福実感要因において「永平寺町は創造性をはぐくむ場 所や機会がある」という"創造性"に関して実感が十分に得られていないことが分かった。加 えて、コロナ禍において新たに始めたことがある人、熱中できる好きなことがある人のウ ェルビーイング度が高い傾向があるという結果も得られた。ついては、 町民の満足度が低 い「文化・芸術」分野において、日常的な小さな創造性をはぐくみ・表現することのでき る機会の創出が有効と考えられる。なお、これらの支援は新たな社会的関係性をつくることで上記の孤独・孤立対策への効果も期待できる。

具体的には、永平寺町の「文化・芸術」分野について、知ること・始めること・参加できる場として、文化・芸術分野の各種講座の充実、若年層の新しい文化・芸術活動に対する支援、灯篭流し等の象徴的な文化・芸術行事への住民参加型の仕組み強化、などが考えられる。

3. 寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)の視点強化

生活実感の調査を通じて「永平寺町はあなたの意見や置かれた環境・ジェンダーなどを 尊重してくれる町だ」という"寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)"がまちの幸福 実感要因の中で最も低く、課題感があることが分かった。加えて、永平寺町においてより 女性の方が寛容性を感じられていない現状も明らかになり、多様性ある社会に向けジェンダーギャップ解消が日本中で求められる中、いかに寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)の視点を町政に活かしていくかが重要である。

具体的には、永平寺町が「第二期永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を通じて取り組む"人口減の克服"においてメインターゲットとなる 20-30 代女性を中心とし、多様な属性の町民の政策・方針決定過程への参画拡大・声をくみ取とる仕組みの構築が有効と考えられる。女性にとって優しいまちづくりという視座は、町政の事業・施策においてこれまで考慮してこなかった新たな視点を生む可能性がある。また、LGBTQ など多様な性の在り方に関する理解も世界中で深まってきており、次回策定する男女共同参画推進計画においては、性別やジェンダーを越え、一人ひとりの尊厳や可能性が尊重される"寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)"を主軸においた検討が進められることが求められる。

4. 施策認知度向上のためのメディア活用戦略

永平寺町の新型コロナウイルス感染症対策に関する各施策に関する認知度が低いという 課題が見られたため、施策認知度向上のための年齢層毎のアプローチ方法の検討や高齢層 への優先的なデジタル活用支援などのメディア活用戦略が必要である。

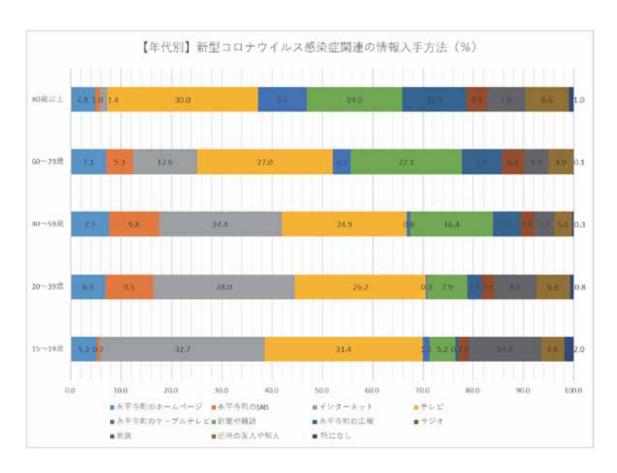
具体的には、情報の入手方法は年代により異なっており、15-19歳、20-39歳、40-59歳の層は、主にデジタル機器を通じて永平寺町のホームページ・SNS やインターネットなどから情報を入手しており、この年齢層には、LINE等のデジタルツールを活用し施策に関する情報をプッシュ型で適時届ける体制構築が有効と考えられる。一方で、60歳以上は、テレビや新聞などの既存の地元マスメディアからの情報入手割合が高いため、地元マスメディアとの連携のもと町政に関する定期的な情報提供の体制構築が有効と考えられる。

また、適時適切な情報共有のためにデジタル活用は全年代において求められるが、60歳以上において、デジタル機器の活用が十分にできてない現状が顕著に見受けられ、またデジタル機器を通じた情報入手割合も少ないとの結果が得られた。ついては、サロン・公民館等の各種事業を通じて、60歳以上をターゲットとしたデジタル機器活用の講座等を設け

るなど、高齢層の町民がデジタル機器を不自由なく活用できるようになるための支援が効果的であると考えられる。

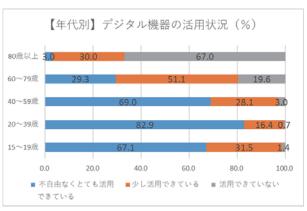
【年代別】新型コロナウイルス感染症関連の情報入手方法(%)

	永平寺町の ホームページ	永平寺町の SNS	インターネット	テレビ	永平寺町の ケーブルテレ ビ	新聞や雑誌	永平寺町の広 報	ラジオ	家族	近所の友人や 知人	特になし
15~19歳	5.2	0.7	32.7	31.4	1.3	5.2	0.7	2.0	14.4	4.6	2.0
20~39歳	6.9	9.5	28.0	26.2	0.3	7.9	2.9	2.4	8.5	6.6	0.8
40~59歳	7.7	9.8	24.4	24.9	0.8	16.4	5.5	2.8	3.9	3.6	0.3
60~79歳	7.1	5.3	12.6	27.0	3.5	22.1	7.9	4.3	4.9	4.9	0.1
80歳以上	4.8	1.0	1.4	30.0	9.7	19.0	12.8	4.1	7.6	8.6	1.0



【年代別】デジタル機器の活用状況(%)

	不自由なくとても活用 できている	少し活用できている	活用できていない							
15~19歳	67.1	31.5	1.4							
20~39歳	82.9	16.4	0.7							
40~59歳	69.0	28.1	3.0							
60~79歳	29.3	51.1	19.6							
80歳以上	3.0	30.0	67.0							



5. 生活実感調査の継続実施及び政策反映

本生活実感調査を通じて、孤独・孤立や生活困窮の状況、ウェルビーイングの観点から見た永平寺町の強みと改善すべきポイント等々の見える化を図ることができた。地方自治体の存在目的は、地方自治法第一条に記載されている"住民の福祉の向上"のためにあり、改めて、今日における住民の福祉とは何かを、ウェルビーイング調査の結果を通じて再定義し、測定と改善を繰り返していく必要があるものと考えられる。町民のウェルビーイングや幸せの視点に立った時に、中長期的な視点は欠かせず、一度の調査だけでなく、今後も継続した生活実感調査(ウェルビーイング調査)を実施し、経年変化を捉えることで、調査結果をより政策反映とつなげていくことが可能となるものと考える。なお、2021年度の政府の骨太の方針において、政府の各種の基本計画等においてウェルビーイングに関するKPI(重要業績評価指標)が設定されることの記載がなされ、今後ウェルビーイングを測定することの注目度はますます高くなっていくものと予想される。

具体的対策としては、今般の生活実感調査を継続的に実施していくばかりでなく、より 詳細なデータを解析するために、特定のセグメントをターゲットとし同じ対象者を継続し て調査を行うパネル調査 (20-30 代女性の町民をターゲットとする等)の実施は検討に値す る。また、町内に立地する大学と連携し、学生がキーパーソンインタビュー等をし、永平 寺町のウェルビーイングに関する地域資源を発掘・見える化していく取組等も調査の一環 として有効であると考える。

おわりに

本調査・研究は、web を活用したアンケート調査の実施という永平寺町では初の試みに 挑戦するものでもあった。

実施方法の検討の際にも、web などのデジタル・リテラシーの格差の有無による回答数の減少などが懸念されたものの、2回の全戸チラシ配布や、福井新聞でのアンケート実施に関する掲載、さらには、永平寺町の関係者の多くの方に、アンケートの回答を後押しする支援をいただいた。その結果、1185名(有効回答)を得ることができたことは、今後も同様な取り組みを行う際のヒントが得られたように感じる。

何よりも、永平寺町における政策実行において、web などのデジタル活用の可能性という展望が拓けたと感じている。

本調査・研究報告書では、匿名性を確保するためにあえて、記述式回答に関する結果は 掲載していない。

ただ、多くの住民の皆さまから、①子育て支援に関する施策の充実、②高齢者支援に関する支援の充実を求める声が寄せられた。

もう少し掘り下げると、経済的支援はさることながら、コミュニティとしての繋がりを 活用した支援といった、地域住民が主体となって展開できる施策を求める声を確認するこ とができた。

共助や公助といった制度の充実のみならず、永平寺町に住み暮らす人たちに備わる自助 と互助の姿勢が、ここから垣間見ることもできる。

最後に、本調査・研究報告書では、1.包括的な孤独・孤立対策の実施、2.文化・芸術分野と創造性支援の重点化、3.寛容性(ダイバーシティ&インクルージョン)の視点強化、4.施策認知度向上のためのメディア活用戦略、5.生活実感調査の継続実施及び政策反映という5つの政策提言を行った。

子供や大人・高齢者、ビジネスパーソンや専業の主婦・主夫といった属性の壁を取り払い、「皆が永平寺町民」「皆が主役」というスタンスで、これら政策提言に関心を持っていただき、主体的に取り組んでいただけることを願っている。

福井県立大学地域経済研究所

資料編 - 調査質問項目 / 調査結果単純集計

資料編 - 調査質問項目

本調査の趣旨等、ご理解いただいたうえで、本調査にご協力いただけますか?

01はい 02いいえ

あなたについて教えてください。

性別

01男性 02女性 03回答しない

年齢

01 15~19歲 02 20~29歲 03 30~39歲 04 40~49歲 05 50~59歲 06 60~69歲 07 70~79歲 08 80~89歲 09 90歲以上

職業

01会社員・役員 02一般正社員 03自営業 04公務員 05学生(収入あり)06学生(収入なし)07専業主婦・主夫 08派遣・契約社員 09パート・アルバイト 10 無職 11その他:

業種

01農林水産・鉱業 02建設業 03製造業 04卸・小売業・飲食店 05金融・保険業 06不動産業 07運輸・通信業 08サービス業(医療)09サービス業(福祉・介護サービス等)10サービス業(その他)11公務 12その他:

年収

01 100万円以下 02 100万円~300万円 03 300万円~500万円 04 500万円~700万円 05 700万円~1,000万円 06 1,000万円~2,000万円 07 2,000万円~3,000万円 08 3,000万円以上

最終学歴※在学中の方は通っている学校を卒業見込みとして選んでください。

01 中学校卒業・見込み 02 高等学校卒業・見込み 03 専門学校卒業・見込み 04 高専、短大卒業・見込み 05 大学卒業・見込み 06 大学院修了・見込み

世帯人数

01 1人02 2人03 3人04 4人05 5人06 6人以上

同居家族 ※複数可

01就学前児童 02小学生 03中学生 04高校生・大学生・専門学生等 05 6 5 歳以下(就学前児童、小中高生、大学生など通学者を除く) 06 6 5 歳以上 07なし 08その他:

居住地

01松岡地区 02吉野地区 03 御陵地区 04永平寺北地区 05永平寺中地区 06永平寺南地区 07上志比地区 08 永平寺町以外

スマートフォンやパソコン機器などのデジタル機器の扱い

01 不自由なくとても活用できている 02少し活用できている03活用できていない

コロナウイルス感染症についてどう思いますか?

01非常に怖い 02怖い 03どちらでもない 04あまり怖くない 05まったく怖くない

コロナウイルス感染症が拡大する理由は何だと思いますか? ※複数可

01 Go toキャンペーンなどの開始 02 集団の予防対策の気のゆるみ 03イベントや娯楽に対し、密の軽減や緩和があったから 04個人の予防対策の気のゆるみ 05若い世代の気のゆるみ 06シニア世代の気のゆるみ 07政府や自治体が経済施策を重視したから 08大人数の会食 09他県への往来 10不要不急の外出自粛等の呼びかけが浸透していない 11PCR検査が増えたから 12 その他:

新型コロナウイルス感染症の収束はいつ頃と考えますか?

01 2021年4-6月 02 2021年7-9月 03 2021年10-12月 04 2022年以降

さらに感染が拡大した場合の緊急事態宣言等の発令について

01 すぐに出した方が良いと思う 02 出した方が良いと思う 03 どちらともいえない 04 出さない方が良いと思う 05絶対に出さない方が良いと思う

現在、予防対策はしていますか?

01きちんと予防対策をしている 02やや予防対策をしている 03どちらともいえない 04あまり予防対策をしていない 05全く予防対策をしていない

現在している予防対策は何ですか?※複数可

01手洗い 02マスク着用 03アルコールやエタノール消毒 04うがい 05人込みを避ける 06集会やイベントに参加しない 07大人数の会食を控える 08飲食を伴う懇親会は控える 09不要な外食は控える 10室内の換気 11定期的な検温 12室内の掃き掃除 13空気清浄機や加湿器の使用 14テレワークの実施 15時差出勤 16特になし 17その他:

新型コロナウイルス感染症拡大前と後で、主な移動手段の変化について

コロナウイルス感染症拡大"前"の主な移動手段は何でしたか?

01徒歩 02自転車 03バイク 04自家用車(自身が運転) 05家族などの送迎・便乗 06公共交通機関 07タクシー 08外出はしない・しなかった

現在の主な移動手段は何ですか?

01徒歩 02自転車 03バイク 04自家用車(自身が運転) 05家族などの送迎・便乗 06公共交通機関 07タクシー 08外出はしない・しなかった

今後、主な移動手段は何にする予定ですか?

01徒歩 02自転車 03バイク 04自家用車(自身が運転) 05家族などの送迎・便乗 06公共交通機関 07タクシー 08外出はしない

新型コロナウイルス感染症が拡大後に利用が増えた買い物場所や手段は何ですか? ※複数可

01大型店やディスカウントストア 02デパートやスーパー 03インターネットのショッピングモール 04インターネットオークションやフリマサイト 05コンビニエンスストア 06ドラッグストア 07宅配やデリバリー 08キャッシュレス決済 09コロナ感染症拡大前と特に変わらない 10その他:

新型コロナウイルス感染症が拡大後、食料等の主な買い物は、特にどのエリアにある店舗でしていますか?

01松岡地区 02吉野地区 03御陵地区 04永平寺北地区 05永平寺中地区 06永平寺南地区 07上志比地区 08福井市など近隣市町 09県外

現在の生活の状態はどうですか?

01とても困窮している 02少し困窮している 03あまり困窮していない 04まったく困窮していない

現在のお困りごとと、今後発生しそうなお困りごとは何ですか?

現在、困っていることは何ですか?※複数可

マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない

外出時の制限 (感染予防対策など)

運動・スポーツの機会の減少

家族の介護の負担増

自分自身・家族の学習機会の確保、学力低下

自分自身・家族の健康悪化(身体面)

自分自身・家族の健康悪化(精神面)

家族の感染

集落や地区内の友人等と過ごす機会の縮小

Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない

Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の使い方が分からない

新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない

学習の遅れ

働き方の変化による負担

働き口がなくなる

過重労働

休業 (無給)

失業 (就業先の経営不振による)

就業先が見つからない

内定取り消し

支出の増加

収入の減少

住宅ローンの返済

住宅を手放さなくてはならない

自身の感染の恐れ・不安

特にない

今後、起こりそうなお困りごとは何ですか?※複数可

マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない

外出時の制限 (感染予防対策など)

運動・スポーツの機会の減少

家族の介護の負担増

自分自身・家族の学習機会の確保、学力低下

自分自身・家族の健康悪化(身体面)

自分自身・家族の健康悪化(精神面)

家族の感染

Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない

Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の使い方が分からない

新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない

学習の遅れ

働き方の変化による負担

働き口がなくなる

過重労働

休業 (無給)

失業 (就業先の経営不振による)

就業先が見つからない

内定取り消し

支出の増加

収入の減少

住宅ローンの返済

住宅を手放さなくてはならない

自身の感染の恐れ・不安

特にない

その他:

現在、あなたが必要としている情報は何ですか? ※複数可

ワクチン接種時期

町内のワクチン接種場所

今後の生活支援対策

今後の経済支援対策

就職に関する雇用情報

転職に関する雇用情報

新型コロナウィルス感染症の感染状況

その他:

新型コロナウイルス感染症関連の情報入手の方法は何ですか? ※複数可

永平寺町のホームページ

永平寺町のSNS

永平寺町の広報

永平寺町のケーブルテレビ

インターネット

テレビ

ラジオ

新聞や雑誌

家族

近所の友人や知人

特になし

その他:

コロナ禍において、昨年度休止した永平寺町の各種イベントの実施についてどのように思いますか。

県内および町内の感染状況が落ち着いているなら、ほぼ例年通りに開催することを望む。

収束が見通せないので、規模や内容を見直しながら開催することを望む。

この機会にイベントの実施有無について検討することを望む。

その他:

各種イベントに関するご意見があれば記載をお願いします。

(自由記述)

ワクチンの接種について

医療従事者のワクチン接種が始まりましたが今すぐ接種が可能であれば、接種しますか?

01絶対に接種する 02おそらく接種する 03おそらく接種しない 04絶対に接種しない

ワクチン接種で、不安なことはありますか?※複数可

効果

副反応

安全性

費用

供給量

接種できる時期

不安 は一切ない

その他:

コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みをご存知ですか?

	知らない	知っている
水道料金の減免		
永平寺町子ども生活応援給付金		
新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給		
事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)		
教育資金支援給付金(拡充)		
徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)		
永平寺町みんなのスタンプラリー		
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免		
感染防止徹底宣言支援事業		
新型コロナ対応資金等利子補給事業		
地産地消支援事業		
新生児育児応援給付金		

永平寺町の取り組みに対して、どのように感じますか?知っている取り組みは満足度、知らない取り組みは期待度を教えてください。(4段階評価)

	とても満足/期待している	少し満足 /期待し ている	足/期待	まったく 満足/期 待してい ない
水道料金の減免				
永平寺町子ども生活応援給付金				
新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給				
事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)				
教育資金支援給付金(拡充)				
徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)				
永平寺町みんなのスタンプラリー				
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免				
感染防止徹底宣言支援事業				
新型コロナ対応資金等利子補給事業				
地産地消支援事業				
新生児育児応援給付金				

コロナウイルス感染症の拡大を受けて、新たに始めたことはありますか?

01ある 02ない

ある場合は、新たに始めたことを具体的に教えてください。

例:自宅で家族と過ごす,友人や知人と過ごす,趣味(料理や陶芸など)や娯楽,ネットショッピング,オンラインゲームやビデオ鑑賞 など

(自由記述)

ここに0段~10段のハシゴがあるとします。10段目はあなたにとって「最高の生活」、0段目はあなたにとって「最低の生活」を表しているとします。あなたの生活は今、ハシゴのどの段階にいますか?

01, 10段目 02, 9段目 03, 8段目 04, 7段目 05, 6段目 06, 5段目 07, 4段目 08, 3段目 09, 2段目 10, 1段目 11, 0段目

あなたは自分が生活の中でしていることにどの程度やりがいを感じていますか。10は「非常にやりがいを感じる」と思っていることを、0は「まったくやりがいがない」と思っていることを表します。

 $01.\ 10\ 02.\ 9\ 03.\ 8\ 04.\ 7\ 05.\ 6\ 06.\ 5\ 07.\ 4\ 08.\ 3\ 09.\ 2\ 10.\ 1\ 11.\ 0$

あなたは過去1週間を総合して「生活が整っている」とどれぐらい感じましたか?

01 とても感じた 02 まぁまぁ感じた 03 少し感じた 04 感じなかった

あなたは以下の9つの項目について、日々の永平寺町での生活においてどの程度満足していますか? (5段階評価)

			ž	満足度	
	満足してい	満足してい どちからと どちらとも バナミトいるばて洪		どちらといえば不満	不満である
	る	いえば満足	いえない	こりりこいんは小河	小河でめる
健康					
仕事					
学び					
食と農(食環境)					
まちづくり					
自然					
文化・芸術					
族・友人との関					
時間の使い方					

あなたの生活を整えるために、あなたが重要視する事項は以下の 9 つの項目のうちどれですか?第 1 位から第 3 位の順に、それぞれ一つずつ選んでください。

第1位 健康、仕事、学び、食と農(食環境)、まちづくり、自然、文化・芸術、家族・友人との関係、時間の使い方 第2位 健康、仕事、学び、食と農(食環境)、まちづくり、自然、文化・芸術、家族・友人との関係、時間の使い方

第3位 健康、仕事、学び、食と農(食環境)、まちづくり、自然、文化・芸術、家族・友人との関係、時間の使い方

あなたは過去1週間を総合して以下の項目のことをどれぐらい感じましたか。(4段階評価)

	とても感し	た まあまあ感じた	少し感じた	感じなかった
愛する大事な人達(家族や友人)との関係が良好である				
心安らぐ状態である				
人生の困難に対処できる				
余暇時間が充実している				
自分がしている仕事や勉強に意味がある				
自分がしている仕事や勉強に熱中している				
自然とつながっている				
精神性や信仰心				

あなたは友人等と平均してどのくらいの頻度で交流(実際に会ったり、連絡を取り合ったりすること)をしていますか。

01 ほぼ毎日、02 週に3、4回、03 週に1回、04 月に2、3回、05 月に1回、06 年に数回、07 年に1回、08 1 年以上交流なし、09 該当者がいない

あなたの状況についてあてはまるものを選んでください。(4段階評価)

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
自分には人との付き合いがないと感じることがありますか				
自分は取り残されていると感じることがありますか				
自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか				

他者との関係性について、あなたはどのように感じているか、あてはまるものを選んでください。(5段階評価)

	全くあては	まりあては	どちらとも	ややあては	非常にあて
	まらない	まらない	いえない	まる	はまる
自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。					
大切な人を幸せにしていると思う。					

あなたが困ったとき、頼りになる人は、同居の家族・親族を除いて合計で何人いますか?

0人

1人

2人

3人

4人

5人

6~9人

10~19人

20~29人 30人以上

現在、あなたご自身の健康状態をどのように感じていますか。

01よい、02まあよい、03ふつう、04あまりよくない、05よくない

あなたは子育てについて、どのように感じていますか。

01 楽しい、02 どちらかというと楽しい、03 どちらともいえない、04 どちらかというと楽しくない、05 楽しくない、06 子育てをしていな

あなたの家庭の食卓では、永平寺町産のもの、自作のもの(米、野菜など)ご自身で採ったもの(山菜など)を食べる頻度はどのくらいですか。

01毎日、02週に数回、03月に数回、04ほぼない、05全くない、06分からない

あなたは熱中できる好きなことがありますか。

01はい、02いいえ

あなたは働き方について副業などの複数の選択肢をもっていますか。

01副業などの複数の選択肢をもっている、02副業などの複数の選択肢をもっていないが、今後持ちたい、03副業などの複数の選択肢を もっていないが、今後も持ちたいと思わない。

あなたは以下のうちどのようなボランティア活動、地域コミュニティ活動を行っています か。※複数可

01 自治会・町内会、02 お祭り、03 清掃活動、04 高齢者福祉、05 子育て支援、06 PTA、07 災害・復興支援、08 音楽・ダンス・スポーツ活動、09 障害者 支援、10 自主的な寄付、募金(食堂の寄付メニューやフェアトレード品の購入も含む)、11 ボランティア活動や地域コミュニティ活動は行っていない

あなたのこの1年間のボランティア活動(PTA 活動等を含む)、自治会・町内会などの地域 コミュニティの活動(趣味やスポーツを含む)などへの参加頻度は どのくらいですか。

01 ほぼ毎日、02 週に3、4回、03 週に1回、04 月に2、3回 、05 月に1回、06 年に数回、07 年に1回、08 行っていない

あなたは永平寺町の以下の項目のことについてどのように感じていますか。 (3段階評価)

	感じる	どちらとも	感じない
永平寺町は子育てについて相談できる相手や場所に恵まれた町だ			
永平寺町に愛着や誇りを感じる			
永平寺町のまちの未来に希望を感じる			
永平寺町は世代を越えて交流ができる場所や機会がある町だ			
永平寺町は町民同士が助け合って暮らしている町だ			
永平寺町はあなたの意見や置かれた環境・ジェンダーなどを尊重してくれる町だ			
永平寺町は自分の好きなことを学び続けられる町だ			
永平寺町は創造性をはぐくむ場所や機会がある町だ			

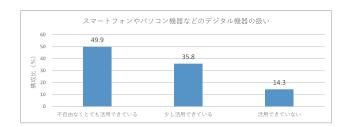
最後に、あなたが永平寺町で幸せに生活するために、町政に期待することを具体的に教えてください。 (自由記述)

以上

資料編 - 調査結果単純集計

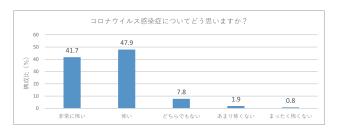
スマートフォンやパソコン機器などのデジタル機器の扱い

	3 - 1		
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	不自由なくとても活用できている	591	49.9
2	少し活用できている	424	35.8
3	活用できていない	170	14.3
	合計	1185	100.0



コロナウイルス感染症についてどう思いますか?

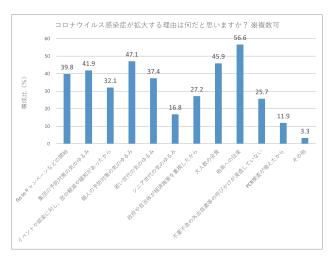
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	非常に怖い	494	41.7
2	怖い	568	47.9
3	どちらでもない	92	7.8
4	あまり怖くない	22	1.9
5	まったく怖くない	9	0.8
	승計	1185	100.0



コロナウイルス感染症が拡大する理由は何だと思いますか? ※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	Go toキャンペーンなどの開始	472	39.8
2	集団の予防対策の気のゆるみ	496	41.9
3	イベントや娯楽に対し、密の軽減や緩和があったから	380	32.1
4	個人の予防対策の気のゆるみ	558	47.1
5	若い世代の気のゆるみ	443	37.4
6	シニア世代の気のゆるみ	199	16.8
7	政府や自治体が経済施策を重視したから	322	27.2
8	大人数の会食	544	45.9
9	他県への往来	671	56.6
10	不要不急の外出自粛等の呼びかけが浸透していない	304	25.7
11	PCR検査が増えたから	141	11.9
12	その他	39	3.3
	승計	4569	385.6

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない



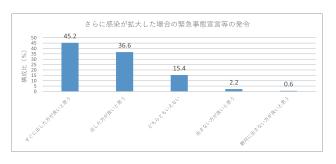
新型コロナウイルス感染症の収束はいつ頃と考えますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	2021年4-6月	5	0.4
2	2021年7-9月	16	1.4
3	2021年10-12月	145	12.2
4	2022年以降	1019	86.0
	승計	1185	100.0



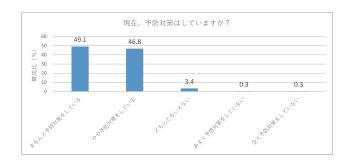
さらに感染が拡大した場合の緊急事態宣言等の発令について

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	すぐに出した方が良いと思う	536	45.2
2	出した方が良いと思う	434	36.6
3	どちらともいえない	182	15.4
4	出さない方が良いと思う	26	2.2
5	絶対に出さない方が良いと思う	7	0.6
	合計	1185	100.0



現在、予防対策はしていますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	きちんと予防対策をしている	582	49.1
2	やや予防対策をしている	555	46.8
3	どちらともいえない	40	3.4
4	あまり予防対策をしていない	4	0.3
5	全く予防対策をしていない	4	0.3
	合計	1185	100.0



現在している予防対策は何ですか?※複数可

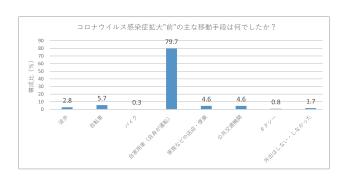
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	手洗い	1094	92.3
2	マスク着用	1169	98.6
3	アルコールやエタノール消毒	978	82.5
4	うがい	543	45.8
5	人込みを避ける	811	68.4
6	集会やイベントに参加しない	673	56.8
7	大人数の会食を控える	878	74.1
8	飲食を伴う懇親会は控える	707	59.7
9	不要な外食は控える	650	54.9
10	室内の換気	437	36.9
11	定期的な検温	463	39.1
12	室内の掃き掃除	195	16.5
13	空気清浄機や加湿器の使用	175	14.8
14	テレワークの実施	61	5.1
15	時差出勤	28	2.4
16	特になし	3	0.3
17	その他	8	0.7
	合計	8873	748.8



現在している予防対策は何ですか?※複数可 98.6 92.3 82.5 68.4 56.8 59.7 54.9 45.8 46.8 47.1 45.8 46.8 47.1

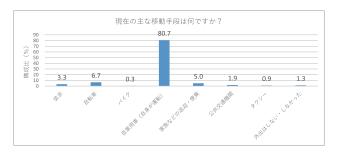
コロナウイルス感染症拡大"前"の主な移動手段は何でしたか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	徒歩	33	2.8
2	自転車	67	5.7
3	バイク	3	0.3
4	自家用車(自身が運転)	945	79.7
5	家族などの送迎・便乗	54	4.6
6	公共交通機関	54	4.6
7	タクシー	9	0.8
8	外出はしない・しなかった	20	1.7
	合計	1185	100.0



現在の主な移動手段は何ですか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	徒歩	39	3.3
2	自転車	79	6.7
3	バイク	3	0.3
4	自家用車(自身が運転)	956	80.7
5	家族などの送迎・便乗	59	5.0
6	公共交通機関	23	1.9
7	タクシー	11	0.9
8	外出はしない・しなかった	15	1.3
	合計	1185	100.0



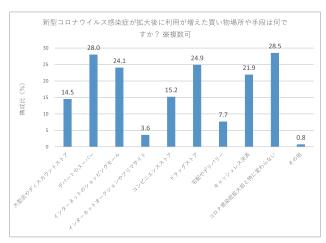
今後、主な移動手段は何にする予定ですか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	徒歩	41	3.5
2	自転車	71	6.0
3	バイク	8	0.7
4	自家用車(自身が運転)	960	81.0
5	家族などの送迎・便乗	54	4.6
6	公共交通機関	21	1.8
7	タクシー	18	1.5
8	外出はしない	12	1.0
	合計	1185	100.0

新型コロナウイルス感染症が拡大後に利用が増えた買い物場所や手段は何ですか? ※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	大型店やディスカウントストア	172	14.5
2	デパートやスーパー	332	28.0
3	インターネットのショッピングモール	285	24.1
4	インターネットオークションやフリマサイト	43	3.6
5	コンビニエンスストア	180	15.2
6	ドラッグストア	295	24.9
7	宅配やデリバリー	91	7.7
8	キャッシュレス決済	260	21.9
9	コロナ感染症拡大前と特に変わらない	338	28.5
10	その他	9	0.8
	合計	2005	169.2

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない

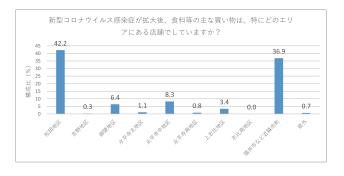


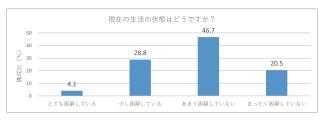
新型コロナウイルス感染症が拡大後、食料等の主な買い物は、特にどのエリアにある店舗でしていますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	松岡地区	500	42.2
2	吉野地区	3	0.3
3	御陵地区	76	6.4
4	永平寺北地区	13	1.1
5	永平寺中地区	98	8.3
6	永平寺南地区	10	0.8
7	上志比地区	40	3.4
8	志比南地区	0	0.0
9	福井市など近隣市町	437	36.9
10	県外	8	0.7
	合計	1185	100.0

現在の生活の状態はどうですか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	とても困窮している	48	4.1
2	少し困窮している	341	28.8
3	あまり困窮していない	553	46.7
4	まったく困窮していない	243	20.5
	승計	1185	100.0

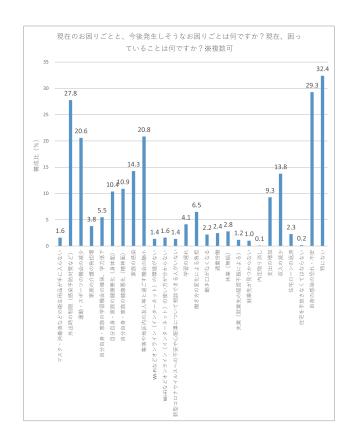




現在、困っていることは何ですか?※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない	19	1.6
2	外出時の制限(感染予防対策など)	329	27.8
3	運動・スポーツの機会の減少	244	20.6
4	家族の介護の負担増	45	3.8
5	自分自身・家族の学習機会の確保、学力低下	65	5.5
6	自分自身・家族の健康悪化(身体面)	123	10.4
7	自分自身・家族の健康悪化(精神面)	129	10.9
8	家族の感染	169	14.3
9	集落や地区内の友人等と過ごす機会の縮小	247	20.8
10	Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない	16	1.4
11	Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の使い方が分からない	19	1.6
12	新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない	16	1.4
13	学習の遅れ	49	4.1
14	働き方の変化による負担	77	6.5
15	働き口がなくなる	26	2.2
16	過重労働	29	2.4
17	休業 (無給)	33	2.8
18	失業(就業先の経営不振による)	14	1.2
19	就業先が見つからない	12	1.0
20	内定取り消し	1	0.1
21	支出の増加	110	9.3
22	収入の減少	163	13.8
23	住宅ローンの返済	27	2.3
24	住宅を手放さなくてはならない	2	0.2
25	自身の感染の恐れ・不安	347	29.3
26	特にない	384	32.4
	合計	2695	227.4

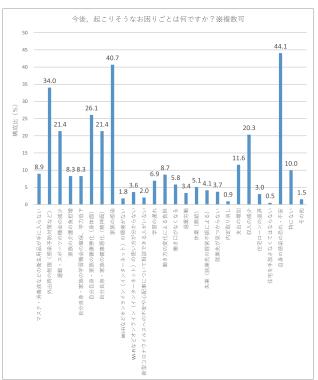
^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない



今後、起こりそうなお困りごとは何ですか?※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない	106	8.9
2	外出時の制限(感染予防対策など)	403	34.0
3	運動・スポーツの機会の減少	253	21.4
4	家族の介護の負担増	98	8.3
5	自分自身・家族の学習機会の確保、学力低下	98	8.3
6	自分自身・家族の健康悪化(身体面)	309	26.1
7	自分自身・家族の健康悪化(精神面)	253	21.4
8	家族の感染	482	40.7
9	Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない	21	1.8
10	Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の使い方が分からない	43	3.6
11	新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない	24	2.0
12	学習の遅れ	82	6.9
13	働き方の変化による負担	103	8.7
14	働き口がなくなる	69	5.8
15	過重労働	40	3.4
16	休業(無給)	60	5.1
17	失業(就業先の経営不振による)	49	4.1
18	就業先が見つからない	44	3.7
19	内定取り消し	11	0.9
20	支出の増加	137	11.6
21	収入の減少	241	20.3
22	住宅ローンの返済	36	3.0
23	住宅を手放さなくてはならない	6	0.5
24	自身の感染の恐れ・不安	522	44.1
25	特にない	118	10.0
26	その他	18	1.5
	合計	3626	306.0

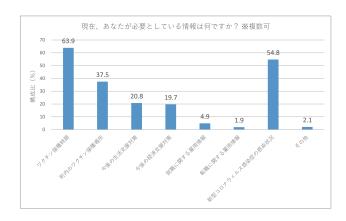
*複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない



現在、あなたが必要としている情報は何ですか? ※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	ワクチン接種時期	757	63.9
2	町内のワクチン接種場所	444	37.5
3	今後の生活支援対策	246	20.8
4	今後の経済支援対策	234	19.7
5	就職に関する雇用情報	58	4.9
6	転職に関する雇用情報	23	1.9
7	新型コロナウィルス感染症の感染状況	649	54.8
8	その他	25	2.1
	승計	2436	205.6

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない



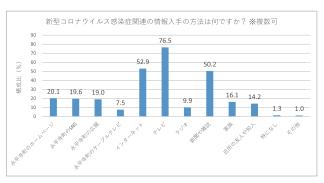
新型コロナウイルス感染症関連の情報入手の方法は何ですか? ※複数可

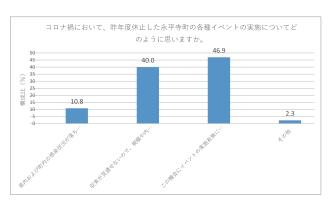
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	永平寺町のホームページ	238	20.1
2	永平寺町のSNS	232	19.6
3	永平寺町の広報	225	19.0
4	永平寺町のケーブルテレビ	89	7.5
5	インターネット	627	52.9
6	テレビ	906	76.5
7	ラジオ	117	9.9
8	新聞や雑誌	595	50.2
9	家族	191	16.1
10	近所の友人や知人	168	14.2
11	特になし	15	1.3
12	その他	12	1.0
	승計	3415	288.2

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない

コロナ禍において、昨年度休止した永平寺町の各種イベントの実施についてどのように思いますか。

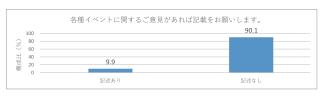
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	県内および町内の感染状況が落ち着いているな ら、ほぼ例年通りに開催することを望む。	128	10.8
2	収束が見通せないので、規模や内容を見直しなが ら開催することを望む。	474	40.0
3	この機会にイベントの実施有無について検討する ことを望む。	556	46.9
4	その他	27	2.3
	合計	1185	100.0





各種イベントに関するご意見があれば記載をお願いします。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	記述あり	117	9.9
2	記述なし	1068	90.1
	合計	1185	100.0



医療従事者のワクチン接種が始まりましたが今すぐ接種が可能であれば、接種しますか?

many ne ye		1 - 2 1 - 10 · 1 /2 / IAL	0 01 7 10 1
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	絶対に接種する	482	40.7
2	おそらく接種する	591	49.9
3	おそらく接種しない	102	8.6
4	絶対に接種しない	10	0.8
	合計	1185	100.0

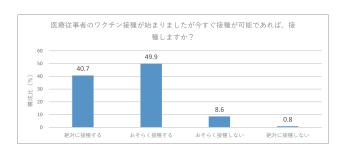
ワクチン接種で、不安なことはありますか?※複数可

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	効果	450	38.0
2	副反応	944	79.7
3	安全性	645	54.4
4	費用	103	8.7
5	供給量	73	6.2
6	接種できる時期	244	20.6
7	不安は一切ない	62	5.2
8	その他	12	1.0
	合計	2533	213.8

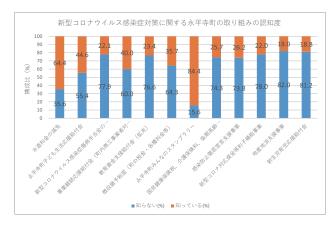
^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない

新型コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みの認知度

No	カテゴリ	知らない(%)	知っている(%)
1	水道料金の減免	35.6	64.4
2	永平寺町子ども生活応援給付金	55.4	44.6
3	新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	77.9	22.1
4	事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)	60.0	40.0
5	教育資金支援給付金 (拡充)	76.6	23.4
6	徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	64.3	35.7
7	永平寺町みんなのスタンプラリー	15.6	84.4
8	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険	74.3	25.7
9	感染防止徹底宣言支援事業	73.8	26.2
10	新型コロナ対応資金等利子補給事業	78.0	22.0
11	地産地消支援事業	82.0	18.0
12	新生児育児応援給付金	81.2	18.8

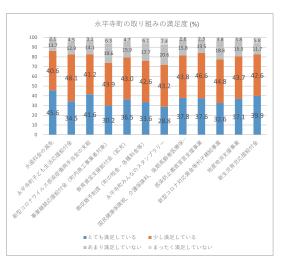






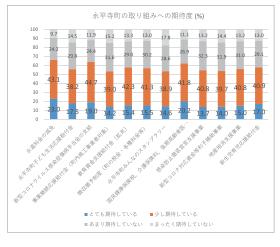
コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みの満足度 (%) (※取り組みを知っていると回答した方の回答結果)

No	カテゴリ	とても満足し ている	少し満足している	あまり満 足してい ない	まったく満足 していない
1	水道料金の減免	45.6	40.6	11.7	2.1
2	永平寺町子ども生活応援給付金	34.5	48.1	12.9	4.5
3	新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	41.6	41.2	14.1	3.1
4	事業継続応援給付金(町内商工事業者対象)	30.2	43.9	19.6	6.3
5	教育資金支援給付金(拡充)	36.5	43.0	15.9	4.7
6	徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	33.6	42.6	17.7	6.1
7	永平寺町みんなのスタンプラリー	28.8	43.2	20.6	7.4
8	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険	37.8	43.8	15.8	2.6
9	感染防止徹底宣言支援事業	37.6	46.6	13.5	2.3
10	新型コロナ対応資金等利子補給事業	32.6	44.8	18.8	3.8
11	地産地消支援事業	37.1	43.7	15.5	3.8
12	新生児育児応援給付金	39.9	42.6	11.7	5.8



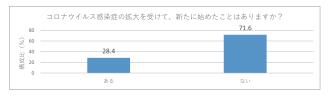
コロナウイルス感染症対策に関する永平寺町の取り組みへの期待度(%)(※取り組みを知らないと回答した方の回答結果)

No	カテゴリ	とても期待し ている	少し期待している	あまり期 待してい ない	まったく期待 していない
1	水道料金の減免	23.0	43.1	24.2	9.7
2	永平寺町子ども生活応援給付金	17.5	38.2	29.8	14.5
3	新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給	19.0	44.7	24.4	11.9
4	事業継続応援給付金 (町内商工事業者対象)	14.2	39.0	31.6	15.2
5	教育資金支援給付金(拡充)	15.4	42.3	29.0	13.3
6	徴収猶予制度(町の税金・各種料金等)	15.5	41.3	30.2	13.0
7	永平寺町みんなのスタンプラリー	14.6	38.9	28.6	17.8
8	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険	20.2	41.8	26.9	11.1
9	感染防止徹底宣言支援事業	13.7	40.8	32.3	13.2
10	新型コロナ対応資金等利子補給事業	14.0	39.7	31.9	14.4
11	地産地消支援事業	15.0	40.8	31.0	13.2
12	新生児育児応援給付金	17.0	40.9	29.1	13.0



コロナウイルス感染症の拡大を受けて、新たに始めたことはありますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	ある	337	28.4
2	ない	848	71.6
	승計	1185	100.0



ここに0段~10段のハシゴがあるとします。10段目はあなたにとって「最高の生活」、0段目はあなたにとって「最低の生活」を表しているとします。あなたの生活は今、ハシゴのどの段階にいますか?

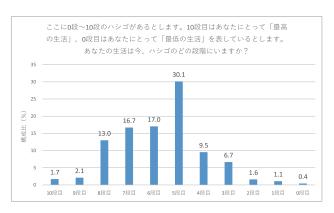
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	10段目	20	1.7
2	9段目	25	2.1
3	8段目	154	13.0
4	7段目	198	16.7
5	6段目	202	17.0
6	5段目	357	30.1
7	4段目	113	9.5
8	3段目	79	6.7
9	2段目	19	1.6
10	1段目	13	1.1
11	0段目	5	0.4
	승計	1185	100.0

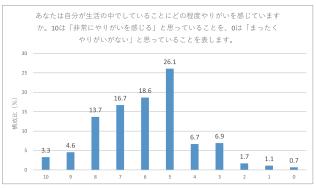
あなたは自分が生活の中でしていることにどの程度やりがいを感じていますか。10は「非常にやりがいを感じる」と思っていることを、0は「まったくやりがいがない」と思っていることを表します。

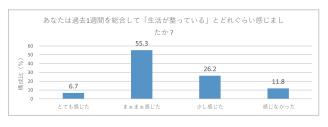
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	10	39	3.3
2	9	54	4.6
3	8	162	13.7
4	7	198	16.7
5	6	221	18.6
6	5	309	26.1
7	4	79	6.7
8	3	82	6.9
9	2	20	1.7
10	1	13	1.1
11	0	8	0.7
	合計	1185	100.0

あなたは過去1週間を総合して「生活が整っている」とどれぐらい感じましたか?

U.J04.7C 104.7C	2242BBC40BC (1220 E) (0 8) CC10 (3 0 16 O 8 O 7C 10	•
No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	とても感じた	79	6.7
2	まぁまぁ感じた	655	55.3
3	少し感じた	311	26.2
4	感じなかった	140	11.8
	승計	1185	100.0

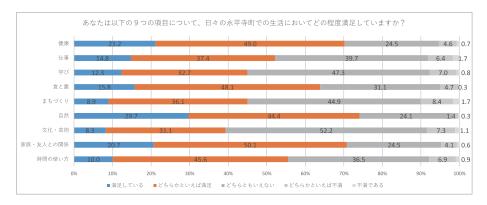






あなたは以下の9つの項目について、日々の永平寺町での生活においてどの程度満足していますか?

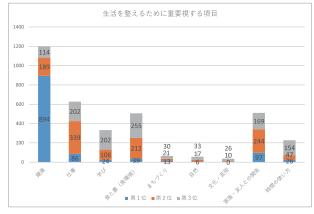
No	カテゴリ	満足している	Z (J4-Wh /0/)	どちかり	らといえば満足	どちらともい	えない(件数	どちらといえ	ば不満(件数	F数 不満である(件数/%) 8 0.7 20 1.7 9 0.8 4 0.3 20 1.7 4 0.3 13 1.1	H *hr /0/ \
INO	777-19	(件数/%) /%)		6)	/%)		- [- /m] C のつの (T女X/ /0)				
1	健康	251	21.2	581	49.0	290	24.5	55	4.6	8	0.7
2	仕事	175	14.8	443	37.4	471	39.7	76	6.4	20	1.7
3	学び	146	12.3	387	32.7	560	47.3	83	7.0	9	0.8
4	食と農	187	15.8	570	48.1	368	31.1	56	4.7	4	0.3
5	まちづくり	106	8.9	428	36.1	532	44.9	99	8.4	20	1.7
6	自然	352	29.7	526	44.4	286	24.1	17	1.4	4	0.3
7	文化・芸術	98	8.3	368	31.1	619	52.2	87	7.3	13	1.1
8	家族・友人との関係	245	20.7	594	50.1	290	24.5	49	4.1	7	0.6
9	時間の使い方	119	10.0	540	45.6	433	36.5	82	6.9	11	0.9



あなたの生活を整えるために、あなたが重要視する事項は以下の9つの項目のうちどれですか?第1位

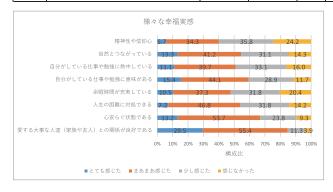
から第3位の順に、それぞれ一つずつ選んでください。

No	カテゴリ	第1位	第2位	第3位
1	健康	894	189	114
2	仕事	86	339	202
3	学び	24	106	202
4	食と農(食環境)	39	212	255
5	まちづくり	13	21	30
6	自然	6	17	33
7	文化・芸術	0	10	26
8	家族・友人との関係	97	244	169
9	時間の使い方	26	47	154
	승計	1185	1185	1185



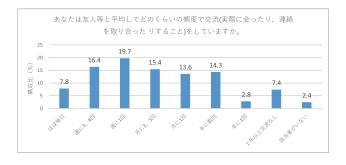
あなたは過去1週間を総合して以下の項目のことをどれぐらい感じましたか。 (4段階評価)

No	カテゴリ	とても感じ7	とても感じた(件数/%)		感じた (件数/%)	少し感じた (件数/%)		感じなかった(件数/%)		合計(件数/%)	
1	要する大事な人達 (家族や友人) との関係が良好である		29.5	656	55.4	134	11.3	46	3.9	1185	100
2	心安らぐ状態である	157	13.2	636	53.7	282	23.8	110	9.3	1185	100
3	人生の困難に対処できる	85	7.2	555	46.8	377	31.8	168	14.2	1185	100
4	余暇時間が充実している	124	10.5	442	37.3	377	31.8	242	20.4	1185	100
5	自分がしている仕事や勉強に意味がある	182	15.4	522	44.1	342	28.9	139	11.7	1185	100
6	自分がしている仕事や勉強に熱中している	132	11.1	471	39.7	392	33.1	190	16.0	1185	100
7	自然とつながっている	158	13.3	488	41.2	369	31.1	170	14.3	1185	100
8	精神性や信仰心	68	5.7	406	34.3	424	35.8	287	24.2	1185	100



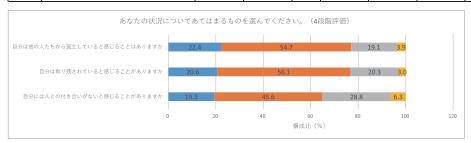
あなたは友人等と平均してどのくらいの頻度で交流(実際に会ったり、連絡を取り合ったりすること)を

No	カテゴリ	人数(人)	構成比 (%)
1	ほぼ毎日	93	7.8
2	週に3、4回	194	16.4
3	週に1回	234	19.7
4	月に2、3回	183	15.4
5	月に1回	161	13.6
6	年に数回	170	14.3
7	年に1回	33	2.8
8	1年以上交流なし	88	7.4
9	該当者がいない	29	2.4
	合計	1185	100.0



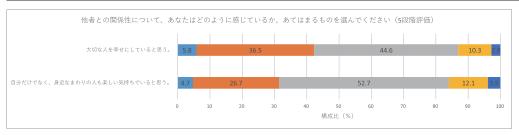
あなたの状況についてあてはまるものを選んでください。(4段階評価)

No	カテゴリ	決してない	(件数/%)	ほとんど	ない (件数/%)	時々ある	(件数/%)	常にある	(件数/%)	合計(件数)	/%)
1	自分には人との付き合いがないと感じることがあ りますか	229	19.3	540	45.6	341	28.8	75	6.3	1185	100.0
2	自分は取り残されていると感じることがあります か	244	20.6	665	56.1	240	20.3	36	3.0	1185	100.0
3	自分は他の人たちから孤立していると感じること はありますか	265	22.4	648	54.7	226	19.1	46	3.9	1185	100.0



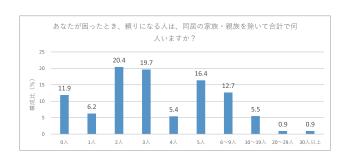
他者との関係性について、あなたはどのように感じているか、あてはまるものを選んでください(5段階評価)

No	カテゴリ	非常に当てはま	:る (件数/%)	ややあてはまる (件数/%)		どちらともいえない(件数 /%)				あまりあてはまらない (件数/%)		全くあてはまらない (件数/%)	
1	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持 ちでいると思う。	56	4.7	316	26.7	624	52.7	143	12.1	46	3.9		
2	大切な人を幸せにしていると思う。	69	5.8	432	36.5	529	44.6	122	10.3	33	2.8		



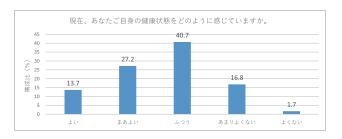
あなたが困ったとき、頼りになる人は、同居の家族・親族を除いて合計で何人いますか?

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	0人	141	11.9
2	1人	74	6.2
3	2人	242	20.4
4	3人	233	19.7
5	4人	64	5.4
6	5人	194	16.4
7	6~9人	150	12.7
8	10~19人	65	5.5
9	20~29人	11	0.9
10	30人以上	11	0.9
	승計	1185	100.0



現在、あなたご自身の健康状態をどのように感じていますか。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	よい	162	13.7
2	まあよい	322	27.2
3	ふつう	482	40.7
4	あまりよくない	199	16.8
5	よくない	20	1.7
	合計	1185	100.0



あなたは子育てについて、どのように感じていますか。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	楽しい	129	10.9
2	どちらかというと楽しい	284	24.0
3	どちらともいえない	170	14.3
4	どちらかというと楽しくない	13	1.1
5	楽しくない	5	0.4
6	子育てをしていない	584	49.3
	승計	1185	100.0

あなたの家庭の食卓では、永平寺町産のもの、自作のもの(米、野菜など)ご自身で採ったも

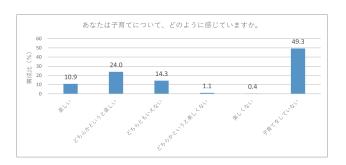
の(田来る	よこ)を長へる頻及はこのくりいですが。		
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	毎日	400	33.8
2	週に数回	276	23.3
3	月に数回	212	17.9
4	ほぼない	143	12.1
5	全くない	45	3.8
6	分からない	109	9.2
	合計	1185	100.0

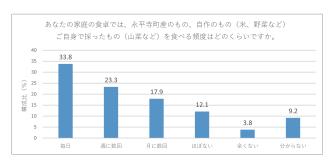
あなたは熱中できる好きなことがありますか。

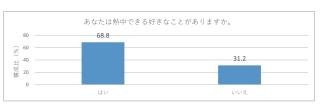
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	はい	815	68.8
2	いいえ	370	31.2
	合計	1185	100.0

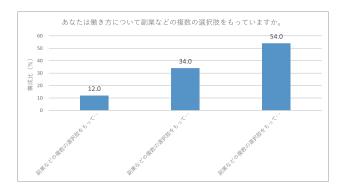
あなたは働き方について副業などの複数の選択肢をもっていますか。

No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	副業などの複数の選択肢をもっている	142	12.0
2	副業などの複数の選択肢をもっていないが、今後 持ちたい	403	34.0
3	副業などの複数の選択肢をもっていないが、今後 も持ちたいと思わない	640	54.0
	合計	1185	100.0









あなたは以下のうちどのようなボランティア活動、地域コミュニティ活動を行っていますか。

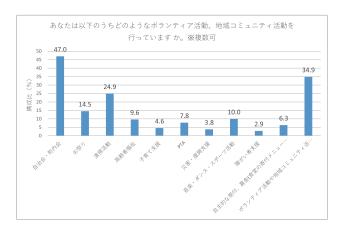
※複数可

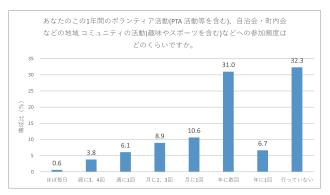
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)
1	自治会・町内会	557	47.0
2	お祭り	172	14.5
3	清掃活動	295	24.9
4	高齢者福祉	114	9.6
5	子育て支援	54	4.6
6	PTA	92	7.8
7	災害・復興支援	45	3.8
8	音楽・ダンス・スポーツ活動	118	10.0
9	障がい者支援	34	2.9
10	自主的な寄付、募金(食堂の寄付メニューやフェアトレード品の購入も含む)	75	6.3
11	ボランティア活動や地域コミュニティ活動は行っ ていない	413	34.9
	合計	1969	166.2

^{*}複数回答のため、すべての項目の割合を足しても100.0%にはならない

あなたのこの1年間のボランティア活動(PTA 活動等を含む)、自治会・町内会などの地域コ

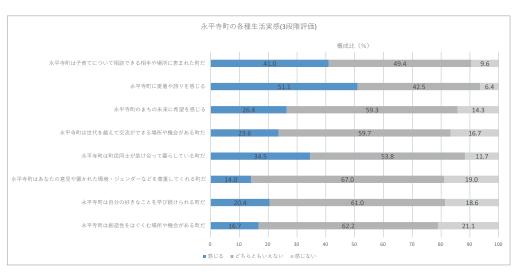
ミューティの活動(趣味やスポーツを含む)などへの参加頻度はどのくらいですか。										
No	カテゴリ	人数(人)	構成比(%)							
1	ほぽ毎日	7	0.6							
2	週に3、4回	45	3.8							
3	週に1回	72	6.1							
4	月に2、3回	106	8.9							
5	月に1回	126	10.6							
6	年に数回	367	31.0							
7	年に1回	79	6.7							
8	行っていない	383	32.3							
	合計	1185	100.0							





永平寺町の各種生活実感(3段階評価)

No	カテゴリ	感じる (件数/%)		どちらともいえない(件 数/%)		感じない (件数/%)		合計(件数/%)	
1	永平寺町は子育てについて相談できる相手や場所 に恵まれた町だ	486	41.0	585	49.4	114	9.6	1185	100.0
2	永平寺町に愛着や誇りを感じる	605	51.1	504	42.5	76	6.4	1185	100.0
3	永平寺町のまちの未来に希望を感じる	313	26.4	703	59.3	169	14.3	1185	100.0
4	永平寺町は世代を越えて交流ができる場所や機会 がある町だ	280	23.6	707	59.7	198	16.7	1185	100.0
5	永平寺町は町民同士が助け合って暮らしている町 だ	409	34.5	637	53.8	139	11.7	1185	100.0
6	永平寺町はあなたの意見や置かれた環境・ジェン ダーなどを尊重してくれる町だ	166	14.0	794	67.0	225	19.0	1185	100.0
7	永平寺町は自分の好きなことを学び続けられる町 だ	242	20.4	723	61.0	220	18.6	1185	100.0
8	永平寺町は創造性をはぐくむ場所や機会がある町 だ	198	16.7	737	62.2	250	21.1	1185	100.0



一 担当(執筆者)-

福井県立大学 地域経済研究所 准教授 杉山友城 准教授 高野 翔

「新型コロナウイルス感染症に関する永平寺町生活実感調査」報告書 2021 年 6 月

本書についてのご質問、ご意見などは、下記までお問い合わせください。

福井県立大学 地域経済研究所 〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1 TEL: 0776-61-6000(内線 6202)、E-mail:keiken@fpu.ac.jp